

**明けましておめでとうございます。**除夜の鐘や船の汽笛の音とともに、真夜中の冷気について新しい年がやってきました。2013年が皆さまにとってよいお年でありますように。

**お知らせ**

- ・ 新年会 2013年1月13日(日) 草志舎
- ・ ヴォーリズ六甲山荘冬作業 1月19日(土)
- ・ 歴史的建築物研究会 1月24日(木) 大阪
- ・ ヴォーリズ六甲山荘冬作業 2月2日(土)
- ・ アメニティ・アカデミー 第Ⅱ期セミナー第4回 2月9日(土) 草志舎
- ・ タイ交流旅行 2月11日(月)~16日(土)
- ・ ヴォーリズ六甲山荘冬作業 2月19日(火)

**2013年の年明けに**

2012年には大きなイベントがありました。まずはアメニティ・アカデミーの開院に伴ない、新規事業としてセミナーの開講を行いました。4月からⅠ期・ヴォーリズ建築再見、Ⅱ期・読み解く心を育むと題して恵まれた講師陣による各5回にわたり連続講座が開催されています。また、7月には待望の「ヴォーリズ六甲山荘物語」を発行することができました。山荘のすばらしさ、当協会が行ってきた活動の理解を深めるのに役立つことでしょう。夏には、東北の被災学生を招待したワーキングホリデーは若い息吹が六甲山荘に満ち溢れた4日間でした。この開催のために多くの方がいろいろな形での支援をしてくださったのも忘れられません。

さて明けて2013年ですが春にはセミナーの第Ⅲ期が開講予定です。またヴォーリズ六甲山荘はだんだん認知度が高くなっているの、公開時にはみんなで力を合わせて対応しましょう。今年大きな期待をもっているのがエデュケーション・センター(仮称)です。若い人たちが、特に大学生を中心に活動の企画運営に関わるなどして、当協会の次代の人材として育ててくれることを願っています。それでは今年も会員全員の力で新たな道を切り開いていきましょう。

**予告1****歴史的建築物研究会・大阪**

1月の歴史的建築物研究会は会員の自主企画で、大阪市中央区を歩きます。日本銀行大阪支店から出発して高麗橋界隈のレトロビルをまわります。大阪市立大学の高岡信一講師を案内もあり見所満載の一日となるでしょう。詳細は同封の案内書をごらんください。なお日銀への手続きの都合上、締切りが早くなっています。お申し込みはお早くお願いいたします。

月日 **2013年1月24日(木)** 集合 午前9時45分 日本銀行大阪支店前  
参加費 会員2,000円 一般2,500円(昼食代別途各自負担)  
定員 20名 締切り **1月7日**

**予告2****新年会**

恒例の新年会をつぎのように開きます。

日時 **2013年1月13日(日) 午後6時**

場所 草志舎(阪急西宮北口駅から徒歩3分)

参加費 1,500円(飲み物、食べ物の差し入れ大歓迎!)

年のはじめににぎやかに食べたり飲んだりしゃべったりして楽しくすごしましょう。日頃すれちがいの多い会員同士が顔をあわせるいい機会です。また今回は夏のワーキングホリデーで活躍した学生さんたちも参加されます。若い方たちと若々しい話題でもりあがりましょう。

参加ご希望の方は1月10日までにご連絡ください。

これは、「賢いもの」に纏わるお話です。その意味を、「賢し」で引く(広辞苑)と①おそろしいほど明察の力がある ②才知がある,思慮がある ③巧妙である,うまい ④立派だ,偉大だ⑤大したことだ とあります。最近「賢いもの」に程遠い出来事がありました。

昨年末のことです。12月24日、夜に私の担当していますクリスマス・コンサートがあるため、帰ってから遅いイブの食事をする事になっていました。そこでお腹が減るだろうと、行く前に軽く食べて行きたいと奥さんに囁きますと、そんな手間なことをするのと一蹴されてしまいます。そこで外出したついでに買って来た餡パンを食し、準備もあり一人先に出掛けたのです。無事コンサートが終りほっと一息、懇親会に居た奥さんに愛想よく話しかけますと、「私の餡パンを捜しましたがどこにもありませんでしたけど、同じようにお腹は減るのですよ」と不機嫌なご様子。噛み合わない二人！その原因は、奥さんが腹ごしらえの必要なしと思ひ込み、誘惑にかられ無断で二つとも食べたのが発覚したことにありました。その場を、後始末があるのでと退散する、ミゼラブルな私がいきました。

また、次のような使われ方をしています。それは、現存する最古の日本語訳聖書である1837年宣教師ギョツラフ訳「約翰(か)福音之傳」の冒頭に、『ハジマリニ カシコイモノゴザル』とあるのを見つけました。現代語版では、「初めに言(ことば)があった」と訳されている箇所です。原典の「ロゴス」は、通常人々が話す言葉だけでなく、思想、理性、世界を支配する理性、神の言葉、道という意味があります。ここでは、本来であれば、神の言葉とか道と訳されるところを、あえてカシコイモノと意識したようです。その真意はどこにあったのでしょうか。ここで言うロゴスが、単なる言葉というよりも、その本質は何かを具体的に表現したかったのではないのでしょうか。それが、カシコイモノという日本語が選ばれたのではないかと推測するのです。世界は賢いもので支配されているのが本来的な有り様なのだとおっしゃっているような気がします。

今の世には、このような賢いものと対極にある状況がたくさんあります。環境破壊、政治問題から個人的な意見対立まで、蔓延した状態といえます。これを紐といていくためには見極める力と関心をもつことが私たちに無くてはなりません。それぞれの事態に指針となるものを持つという心掛けが、今の時に、確かな眼をもつことになるのです。そこには、「賢いもの」があることでしょう。アメニティ2000協会の役割は、この時代であるからこそ「賢いもの」に向かいあう覚悟がさらに求められていると思うのです。そこには、冷めた眼と暖かい心と勇氣ある歩みがなくてはなりません。

心新たに、この想いを秘めて新年に望みたいと願う次第です。

## 予告3

## タイ交流旅行

アメニティ2000協会はタイ・チェンマイのYMCAが実施している環境農業教育プログラムに毎年20万円の支援を行っています。これはタイ北部の貧しい地域の小中学校を対象に、子供たちが自分たちの手で給食の食材をつくり、そのノウハウを将来自立に役立てようというプログラムです。その実施状況を視察し、現地の生徒、先生、保護者との交流をはかるために2月にタイを訪問します。

月日 2013年2月11日(月)～16日(土)

参加費 会員130,000円 一般140,000円

ほかにオイルサーチャージ、空港税等がかかります。

今回はオプションのかわりにチェンマイ近郊のリゾートホテルに2泊します。



子供たちと記念撮影(2011年)

## 予告2

## ＜アメニティ・アカデミー＞

## セミナー「読み解く心を育む」開講しています

アメニティ・アカデミーの第Ⅱ期のセミナーは当協会の理事、監事の方々を講師にお招きして、「読み解く心を育む」というテーマで、第一線で活躍しておられるそれぞれのお仕事から見える文化や社会の姿について、お話しを伺います。お話のあとは講師を囲んで懇談の時間ももうけます。得がたいこの機会にぜひご参加ください。

第4回 2月 9日(土) 講師：山田康子(監事、弁護士) 「結婚・離婚の境界から」

第5回 3月 9日(土) 講師：島田恒(監事、経営学者) 「NPOが拓く社会」

受講料：1回 会員2,000円 一般2,500円

会場：草志舎

定員：30名(定員に達し次第締切ます)

**ご報告1** アメニティ・アカデミー 第Ⅱ期セミナー第3回 12月8日(土) 草志舎  
なぜ「美しいまちづくり」に目覚めたか、なぜ日本ではそのまちづくりが実践しにくいのかについて、宝塚市長時代の経験をもとに具体的なお話でした。結局市民ひとりひとりの意識の変革からはじめなければならないという、古くて新しい命題に締めくくられました。



## 《お薦めの本》

### 小学館辞典編集部編 「美しい日本語の辞典」

清水 順子

この本を見てまず驚くのが表紙です。実をつけた木の枝が白地に銀で描かれていて、辞典というより文芸書の棚にならんでいそうな装丁です。最初に掲載されているのが「日本の色」と題された117色の色の名前、しかも色見本がついているので分かりやすい。たとえば浅葱色とは私の思っていたイメージより深みのある色だと初めて知りました。

本文は三部構成です。「後世に残したい日本語」に収録されているのは私たちシニア世代には耳慣れた言葉がほとんどですが、「しんにゅうをかける」なんて「？」でした。「自然を友として」には天気・気象を表す言葉から特に雨、風、雲、雪、空の呼び名を列記しているのですが、雨には401、風にはなんと471もの名前があるんですよ。「擬音語・擬態語」には楽しい言葉がつぎつぎと登場しますが、その多くが「きらきら」とか「うろうろ」とか重ねた言葉だという発見もありました。

言葉は生き物なので時代とともに変化するのは仕方ない、という当たり前です。私自身も20年前はぞっとしていた「ら抜き言葉」も今では抵抗感が少なくなりました。でも変化は変化として、趣のある言葉や表現が消えてしまうのは惜しいなあとも思います。日常に使われなくなれば、それはほぼ死語です。データとして残っても、私たちの表現を豊かにするのになければ生きた言葉とはいえません。そう考えるとこの本に収録された言葉の多くは死語になりかけているようです。「まえがき」に「美しい日本語、味わい深い日本語、懐かしい日本語、日本人として忘れてはいけない日本語を再確認するきっかけとなると同時に、・(中略)・こうした言葉を次世代に伝えるよすがとなれば幸いです。」とあります。三浦しをんの「舟を編む」で描かれたように、辞典編集者という人たちはひととき言葉に敏感な人たちでしょう。言葉の豊穡が失われるのを惜しむその気持ちがこの辞典の出版につながったと思われます。私もこれからは「イケメン」などと言わずに「二枚目」とか「男前」という言葉を選ぶようにしましょう。

<12月号の「新島八重ものがたり」は川上ゆり子さんによるご紹介でした。記載が漏れたことをお詫びします。>

## <神戸ワーキングホリデー2012の感想文>

山北絵美 (京都大学4回生)

東日本大震災が起きた時、私は京都でアルバイトをしていました。パートのおばさんから、「東で大きな地震あったみたいよ」と言われ、東京の実家に電話をかけても繋がらない。帰宅してからインターネットの動画で見た災害の様子は、現実のことだと思えませんでした。

それから1年以上が経ち、ご縁あって前田先生の企画に参加させて頂きました。それまで、自分も何かできたらと考えていたので、すぐ近くの神戸でできることがあると知り、是非お手伝いしたいと思いました。

4日間のワーキングホリデーは、始まってみるとあっという間でした。福島の様子を聞いたり、神戸の復興を学んだり、レクリエーションを楽しんだり。学生同士、良い意味で震災にとらわれ過ぎない交流ができたと思います。

ワーキングホリデーに参加したことは、色々なことをより深く考えるきっかけにもなりました。特に原子力発電所に関しては、東京で暮らしていた身として、もっと意識を持つべきだと感じました。それは、実際に福島の方々と会って、さらに強い思いになりました。

社会には、複雑ですぐには解決しないことが沢山ありますが、これからの担う者として、原子力との付き合い方は絶対に見直していかなければいけません。私は現在、林業のお手伝いをするサークルに所属しています。

卒業後、木質バイオマスの会社を立ち上げたOGの方もいて、日本は原子力以外にも選択肢があると思います。

来年から社会人として、社会の一端を担うこととなります。今回を含め、大学時代に得た経験を心にとどめて、しっかり前進していきたいです。

最後になりましたが、ワーキングホリデーに参加して下さった福島の方、企画・運営して頂いたアメニティ2000協会の皆様、実行委員会の皆さん、本当にありがとうございました！

### 冬枯れのヴォーリズ六甲山荘

冬にはいって落葉樹はすっかり葉を落としました。空が広く見えて、幹だけになったコナラなどの高木や常緑樹が、りりしく天を衝くように並んでいます。山荘も雨戸を閉めて、人の気配が感じられない空間となりました。



写真・岡本正美

### ヴォーリズ六甲山荘 冬の作業

六甲山荘は冬ごもりにはいりましたが、メンテナンスは続けます。床下の補強、物置の屋根の修理、窓枠の塗り替えなど、公開休止中ならではの作業を以下の日程でします。気温は低いですが、カイロをいれて身体を動かせばホカホカしてきます。冬の作業にぜひご参加ください。また暖かい昼ごはんを用意して下さる厨房係も募集しています。作業を支える大事な役目です。こちらもお待ちしています。

1月 19日 (土)

2月 2日 (土) 19日 (火)

3月 2日 (土) 19日 (火)

ご参加の方は事前にご連絡ください。

タイ・チェンマイ YMCA からの  
グリーティングカード



### リーフレットをお送りします

この封筒にリーフレットを同封しました。お知り合いに当協会をご紹介くださる時にお使いください。余分にお入用の方はご連絡いただければお送りいたします